

臨床研究 に関する情報の公開

血液がんで薬物療法を目的に当院に入院された患者さまの試料・情報を用いた研究に関する
ご協力をお願いについて

項 目	内 容
1. 研究課題名	初回化学療法を受ける高齢血液がん患者の位相角（PhA）と化学療法関連有害事象との関連
2. 研究の対象者	令和7年4月1日から令和8年7月31日の間に、当院の血液内科において薬物療法およびリハビリテーションを受けられた方
3. 研究期間	倫理委員会承認後 ～ 令和9年3月31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施場所：関西電力病院 リハビリテーション部 研究責任者：リハビリテーション部 掛谷 佳昭 共同研究者：リハビリテーション部 砂原 正和 沢田 潤 高田 祐輔 神崎 佑介 佐々木 優衣 血液内科 井尾 克宏
5. 本研究の意義・目的	高齢の血液がん患者で治療前PhAと化学療法関連有害事象との関連を明らかにすることは、従来のCARGスコア（高齢がん患者の化学療法による有害事象予測評価ツール）やSMI（骨格筋指数）にPhAが加わることで化学療法関連有害事象に対する鋭敏なリスク評価に繋がる可能性がある。また、リハビリテーション介入戦略の最適化の一助に繋がることが期待される。
6. 研究の方法	本研究は後方視的観察研究として行い、診療録から情報を抽出し統計学的解析を行う。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	診療録より、年齢、性別、PS（全身状態）、診断名、化学療法関連有害事象、経過記録（SOAP）内の身体機能評価
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	情報管理担当者が研究用パソコン内にパスワードを付したデータとして保管し、施錠可能なデスクにて保管管理します。 廃棄については、研究発表後5年間保存し、データ消去・廃棄の際は複数名で完全にデータを消去・廃棄し、確認を行います。
9. 個人情報の保護について	本研究は、既存の診療情報を用いて行う後ろ向き研究であり、研究対象者から文書または口頭による同意を得ることが困難なため、オプトアウト方式にて実施します。研究への参加を希望されない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 掛谷 佳昭
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション部 掛谷 佳昭 電話：06-6458-5821（代表）